

平成24年 2月 2日

各 位

大阪市信用金庫  
大阪市中央区北浜2-5-4

大阪市信用金庫

## 店舗ATMを最新鋭機種に全面更新

～ 人と環境にやさしい店舗づくりを推進 ～

大阪市信用金庫は、創立85周年を迎えるのを機に、人と環境にやさしい店舗づくりをコンセプトに、ATM151台すべてを富士通(株)の最新鋭機種「FACT-V X200」に更新します。

この1月23日にリニューアルオープンした江戸堀支店のATM3台を皮切りに、平成24年6月までにすべてのATMの更新を完了する予定です。

更新機種は、ハンドセットの標準装備、操作画面のコントラストの強調など、障がいのある方や高齢者に配慮した機能、および業界トップクラスの低消費電力により環境に配慮した機能を備えています。

また、富士通(株)との現金自動照合システム、利用ジャーナルのセンター集中システム等の開発により、営業店事務負担の大幅軽減、セキュリティ機能の強化、顧客情報の漏えいの回避など、機能面の大幅拡充を図っています。



### 記

#### 1. 経緯

現行ATMは、平成13年5月の共同事務センター加盟時に全面更新したもので、平成24年5月のICカードの基本形対応もあり、全店のATM151台の全面更新を決定し、メーカーとの機能拡充についての協議を重ね、全国で初めての本格導入となる富士通(株)の「FACT-V X200」を採用することとなりました。

#### 2. 障がいのある方・高齢者等に配慮した取り組み

- (1) 当金庫は、視覚に障がいのある方に配慮して、平成13年からすべてのATMに「ハンドセット」と呼ばれる受話器式の音声ガイダンスを標準装備していますが、機能面では従来の預け入れ、引き出し、残高照会に加え、平成24年度中のリリースを目指して、「ハンドセット」による振込機能・暗証番号変更機能の開発を行っています。

(2) 色の見え方が異なる方や、加齢などによって色を感じる機能が低下している方に配慮し、操作画面の色のコントラストを強調して、誰もが見やすい画面としています（NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構の認定を取得しています）。

(3) 車いす利用者に配慮して、ATMの足元スペースの拡大や、低い位置からでも使いやすいよう、操作画面を緩やかに傾けるなど、あらゆる人に使いやすい設計を施しています。

### 3. 顧客の利便性の向上とセキュリティ対策

(1) 通帳繰越機能の全機標準装備により、顧客利便性の向上と営業店事務の効率化を図りました。

(2) 指静脈認証の全機標準装備により、キャッシュカードの不正利用防止に係るセキュリティ機能の強化を図り、今後ICカードの積極発行の推進に取り組みます。

### 4. 環境への配慮

更新機種は常にエコモードで稼働し、待機時および稼働時の消費電力が、現行機より約40%削減でき、また、一定時間（1分間）お客様の操作がない場合は、ユニット電源を切るスーパーエコモードに移行することにより、待機時の消費電力を約75%削減可能で、あわせて従来比50%以上の消費電力削減を目指しています。

### 5. 営業店事務負担の軽減とセキュリティの強化

(1) 照合者と立会者の2名で1台あたり30分以上かけて行っていた現金照合について、機内現金の自動計数から照合結果のプリンタへの排出までが10～15分で完了する現金自動照合システムを開発し、営業店事務の大幅な負担の軽減を実現しました。

(2) ATMの利用ジャーナルについては、紙ジャーナルを廃止し、ATMのハードディスクへの記録とジャーナルのセンター集中（ATMから電子ジャーナルを伝送して本部のサーバーに記録）システムを開発中で、平成24年度中のリリースを目指しています。

このシステムが実現すると、紙ジャーナルおよび電子ジャーナルCD-ROMの保管、これらの紛失による顧客情報漏えいリスクを回避することができます。

以上